

登教函第 215 号
令和 8年 1月30日

のぼりべつの図書館を考える有志の会 様

登別市教育委員会
教育長 安宅 錦也

登別市立図書館移転計画に関する公開質問状について（回答）

令和7年12月12日付けで提出がありましたこのことについて、次のとおり回答します。

記

1. 事前計画・構想の必要性について

事業を立ち上げる場合、事前に基本計画・基本構想を練るのが原則と考えますが「移転先を決定しない限り、基本計画、基本構想の検討に入れない」との繰返しでした。仮に移転先を想定するとして対象施設の適否を検討、評価するためには詳細な判断資料や情報が不可欠であると考えます。

移転決定後でなければ、次の段階に移行できない合理的根拠を示してください。

【回答】

登別市教育委員会（以下「市教委」という。）では、市長部局において、図書館整備に関する方針等が正式に決定された後に、基本計画・基本構想等の策定に着手することとしております。

登別市図書館整備検討委員会（以下「委員会」という。）は、登別市立図書館の整備について、登別中央ショッピングセンターアーニス2階への移転を含め検討するため設置したものであり、新たな図書館整備を決定する前段階であったことから、図書館整備決定後に基本構想等を策定する旨をお伝えしていたものです。

どこに移転した場合においてもスペースやレイアウトなどの制約があり、実現が困難な内容を盛り込んだプラン等を策定しても、移転整備決定後に再度計画等を見直す必要性が生じることから、合理的観点からも移転整備決定後に策定することとしていたところです。

また、移転整備を見送ることも想定され、その際はプラン等が不要となりますので、その点においても整備決定後に策定することとしておりました。

2. 判断資料の必要性について

目標（目的）達成のために、事業計画・構想が必要と考えますが、計画・構想を練

るための確定した資料・情報がないまま討議が繰り返されました。そのため不確定要素が残ったままになっています。

想定可能な事実を残したまま次の段階へ移行する理由を問います。

【回答】

ご質問にある「計画・構想を練るための確定した資料・情報がないまま」という部分について、基本計画・基本構想の考え方は「1」のとおりですので、計画・構想を検討する目的の資料提供は当初から予定しておりません。

委員会において、各委員から要求のあった資料のうち、市教委が準備できる資料については都度提供しており、その他、市として提供できない資料については、その理由を説明し、ご理解いただいたものと認識しております。

3. 問題点、不安要素の有無について

本来なら移転先決定前に事前調査を行い、指摘がある不安要素や不都合な事実を解消して事を進めるのが得策と考えますが、その点について憂慮すべき項目あるのか、あるいは「ない」とするなら、その根拠を示してください。憂慮する問題指摘を考慮せず事を進める意図と問題が露見した場合の対策を問います。

【回答】

「不都合な事実」や「憂慮すべき項目あるのか」が具体的に何を指しているのかわかりませんが、委員会での協議の際に、移転先それぞれにおいて、蔵書数や静寂性、防災の観点などの不安要素などは伺っており、市教委としましても、移転整備によってすべての課題を解消することは困難であると考えておりますが、工夫等により解消できる部分が多いと判断しております。

市長部局で図書館整備に関する方針等が正式に決定され、教育委員会で具体的な取組に着手した後に、何らかの「問題が露見した場合」においては、その問題に対して、解決に向けた対応策を講じてまいります。

4. 教育委員会の役割と図書館構想について

教育委員会は学校教育にとどまらず、市民の生涯にわたる教育、学術および文化の振興にも関わる重要な役割を担っているものと理解しております。

登別市立図書館構想においては「子どもファースト」が強調されておりますが、図書館は子どもだけのための施設ではなく、将来を見据え、市民の誰もが利用しやすく、誇りをもって語れるものでなければ、その存在価値を十分に発揮できません。つきましては、子どもに誇れる真の価値ある図書館を創りあげるために、教育委員会としてどのような手段・方策を講じるのが得策とお考えか、ご見解をお伺いいたします。

【回答】

「子どもに誇れる真の価値ある図書館を創りあげる」ための手段・方策については、大人が子どもに誇るために図書館を創るのではなく、子どもたちが図書館を自由に使い、自分たちでそれぞれの価値を見出すことが肝要だと考えます。

そのため、市長部局で図書館整備に関する方針等が正式に決定され、市教委で具体的な取組に着手する場合には、中高生をはじめとした若い世代や子育て世代などから話を聞き、要望をできる限り取り入れることができるよう準備を進めてまいります。